

# ICHIGO 100% パーセント

4 STEP BY STEP

ANOTHER STORY  
OF  
ICHIGO 100%

METHOD: EVENT

DIRECTED BY  
**D'ERLANGER**

SHOW YAMAZAKI  
SOLO WORKS

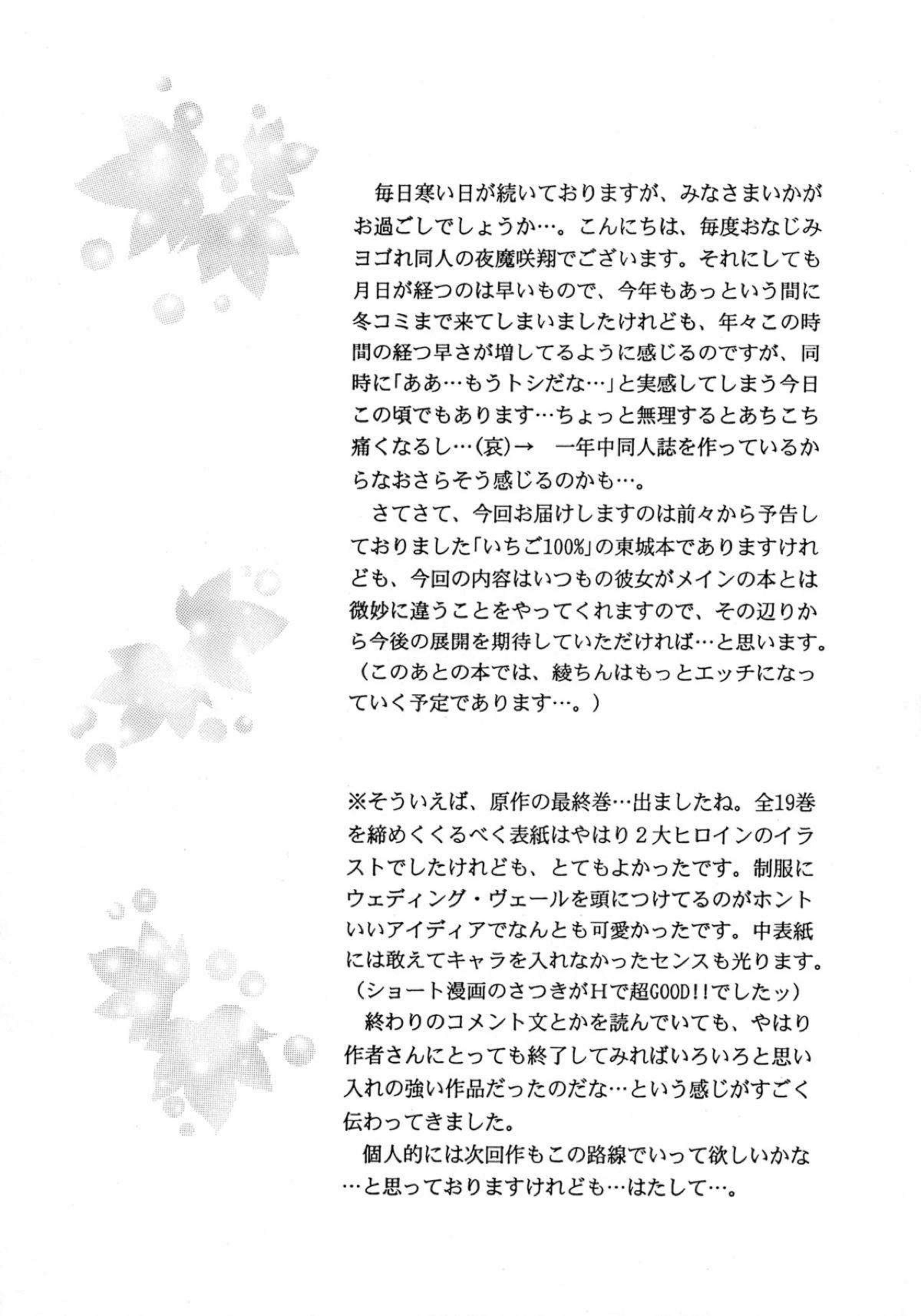


ANOTHER STORY  
OF  
ICHIGO100%

ICHIGO∞%

VOLUME : 4

SHOW YAMAZAKI SOLO WORKS  
D'ERLANGER



毎日寒い日が続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか…。ここにちは、毎度おなじみヨゴれ同人の夜魔咲翔でございます。それにしても月日が経つのは早いもので、今年もあっという間に冬コミまで来てしましましたけれども、年々この時間の経つ早さが増してるように感じるのですが、同時に「ああ…もうトシだな…」と実感してしまう今日この頃でもあります…ちょっと無理するとあちこち痛くなるし…(哀)→ 一年中同人誌を作っているからなおさらそう感じるのかも…。

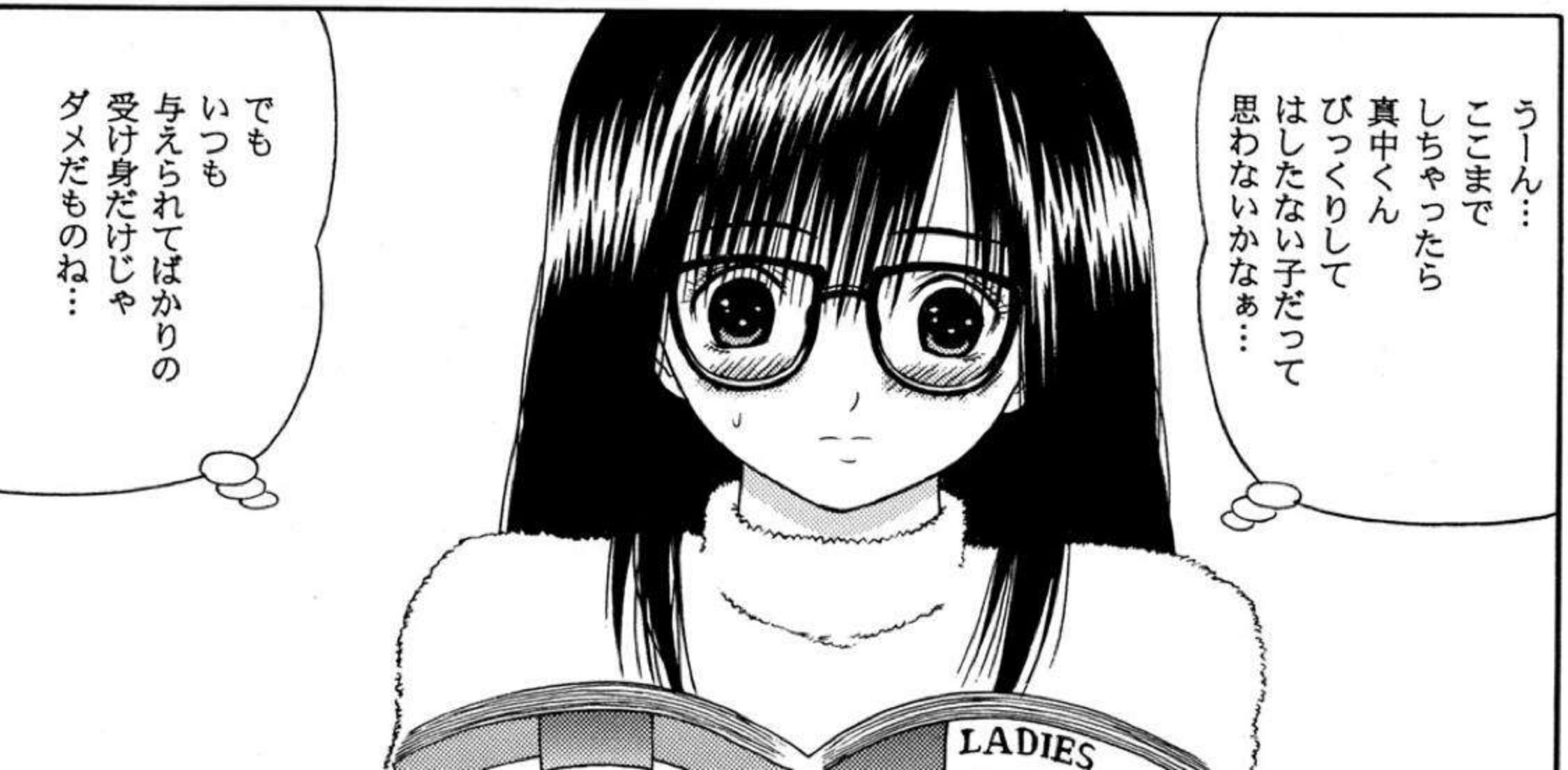
さてさて、今回お届けしますのは前々から予告しておりました「いちご100%」の東城本でありますけれども、今回の内容はいつもの彼女がメインの本とは微妙に違うことをやってくれますので、その辺りから今後の展開を期待していただければ…と思います。  
(このあとの本では、綾さんはもっとエッチになっていく予定であります…。)

※そういうえば、原作の最終巻…出ましたね。全19巻を締めくくるべく表紙はやはり2大ヒロインのイラストでしたけれども、とてもよかったです。制服にウェディング・ヴェールを頭につけてるのがホントいいアイディアでなんとも可愛かったです。中表紙には敢えてキャラを入れなかつたセンスも光ります。

(ショート漫画のさつきがHで超GOOD!!でしたッ)

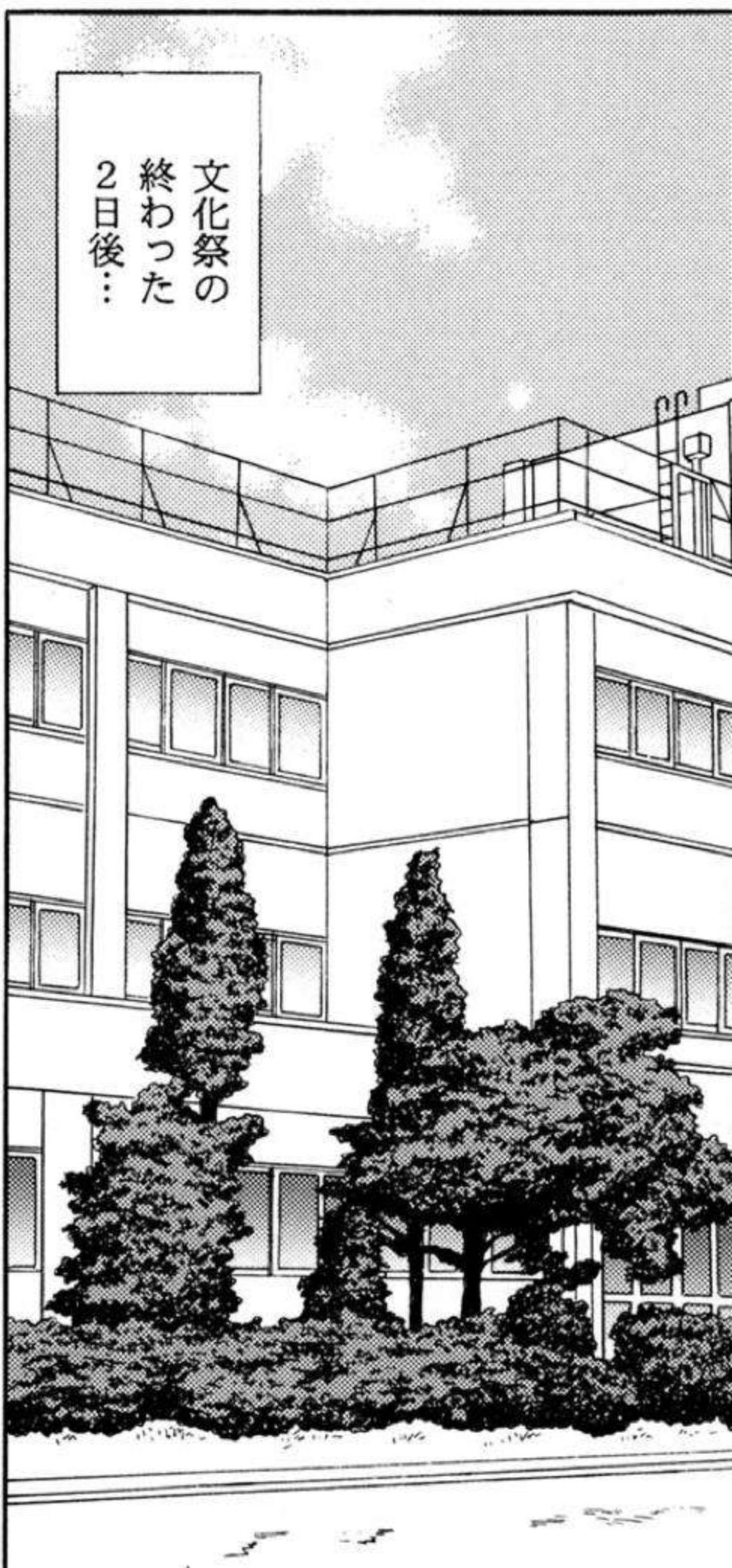
終わりのコメント文とかを読んでいても、やはり作者さんにとっても終了してみればいろいろと思い入れの強い作品だったのだな…という感じがすごく伝わってきました。

個人的には次回作もこの路線でいって欲しいかな…と思っておりますけれども…はたして…。













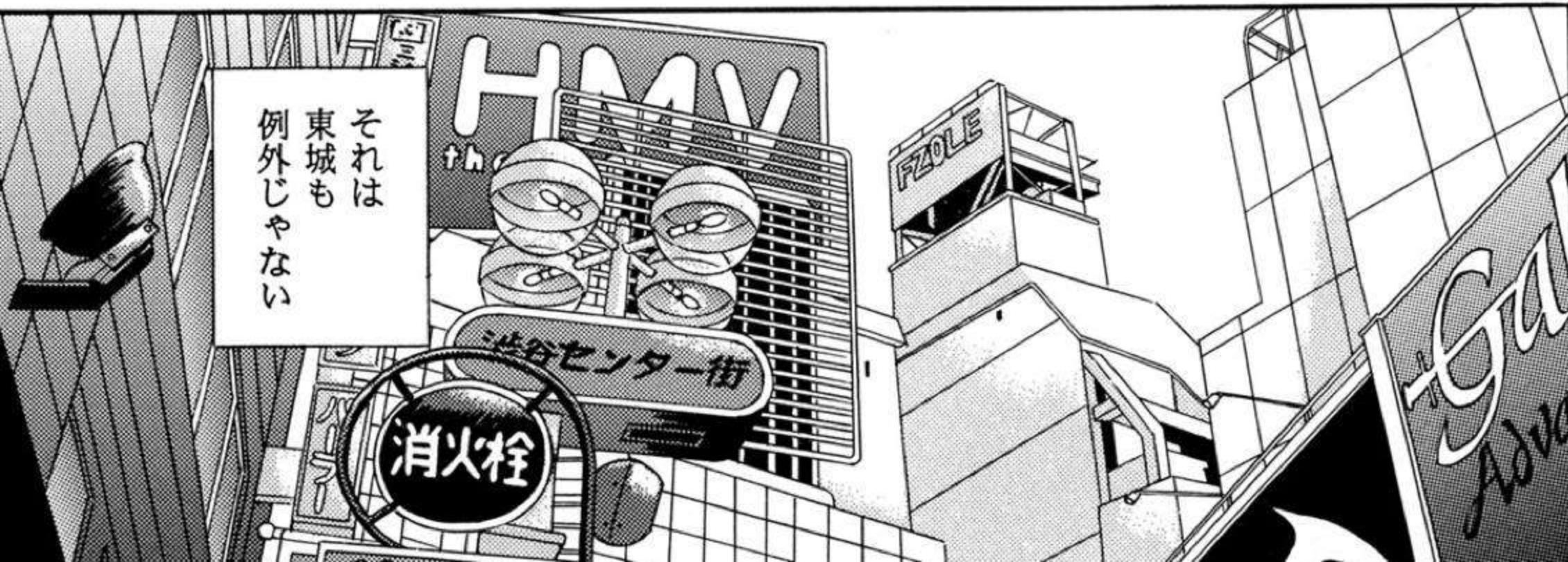
あたしたち  
こうして放課後に  
ゆつくりと  
2人つきりで  
いるのって

し…  
しばらくぶり  
だから…

むしろ  
俺の方から  
どう切り出そうか  
ずっと考えて  
いたのだが…

…あ…

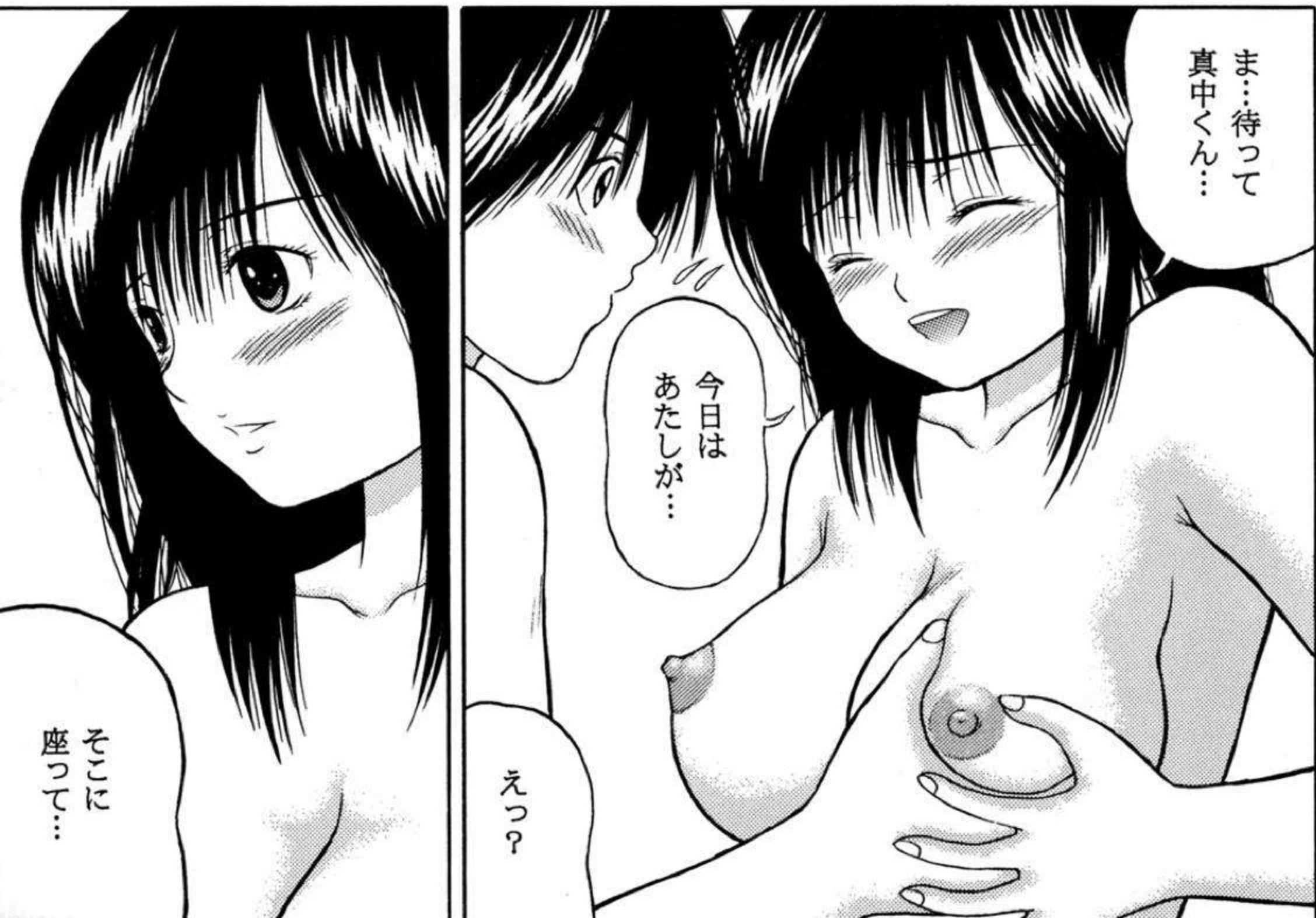
…その…

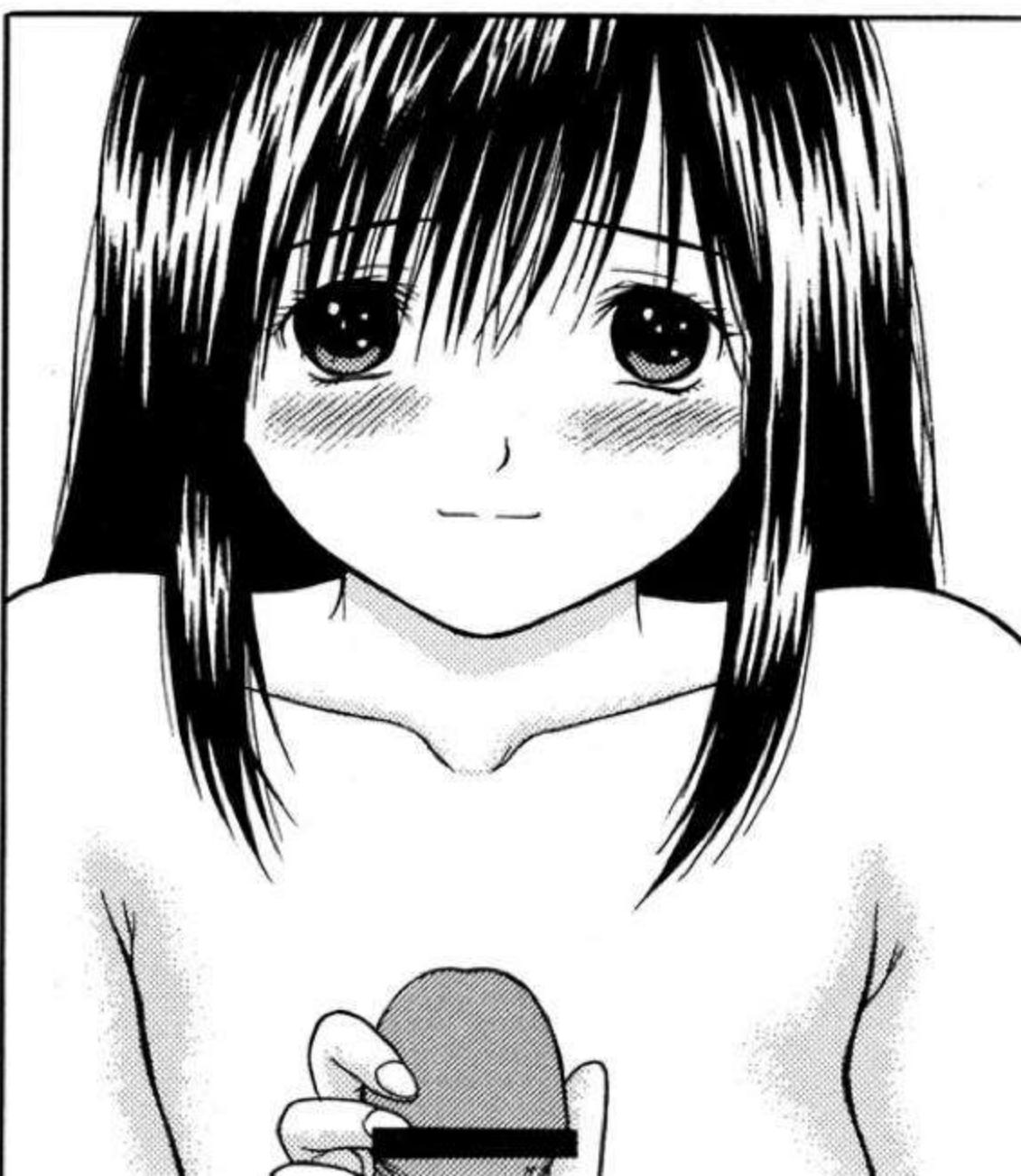














真中くん…  
気持ち  
よさそう…

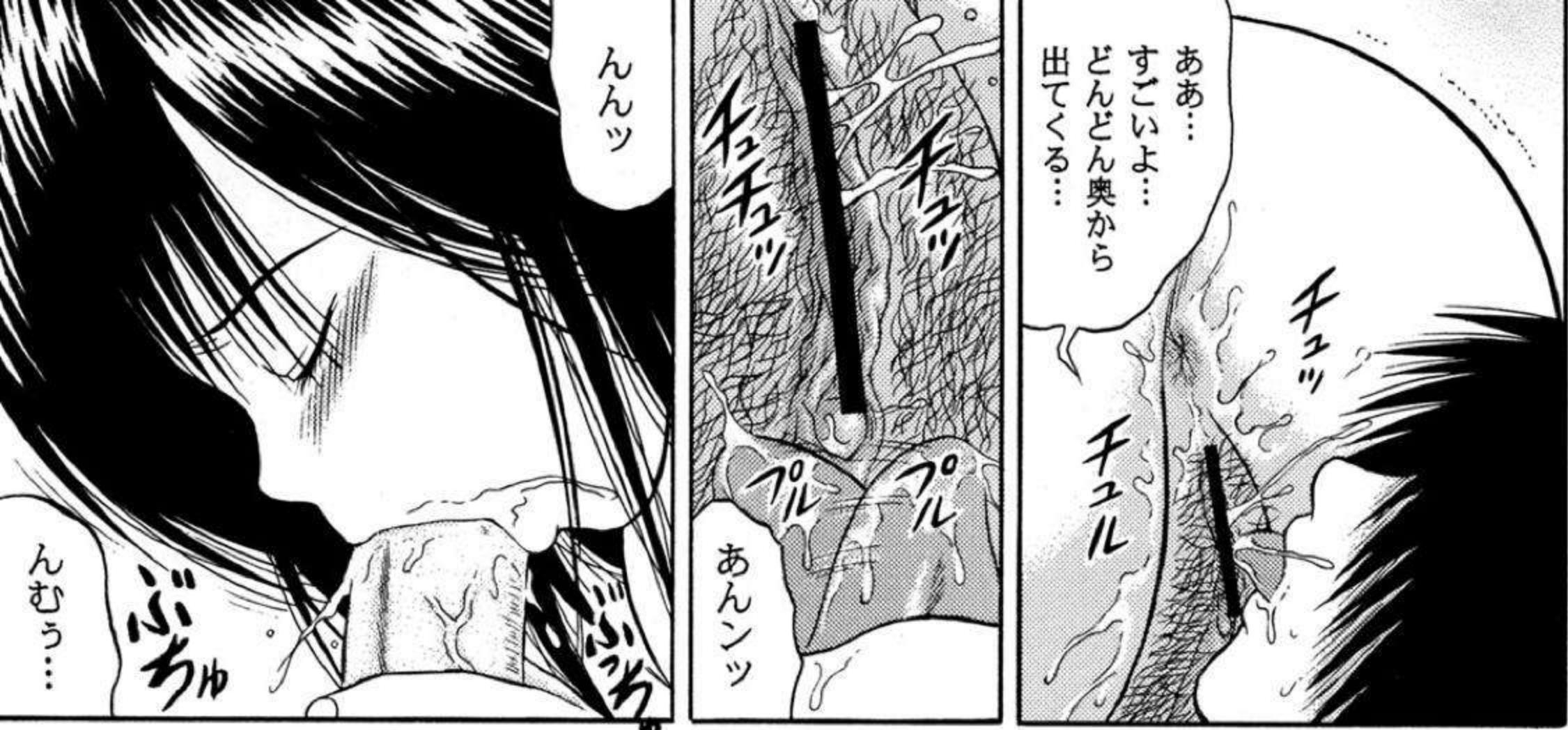
うつあ…



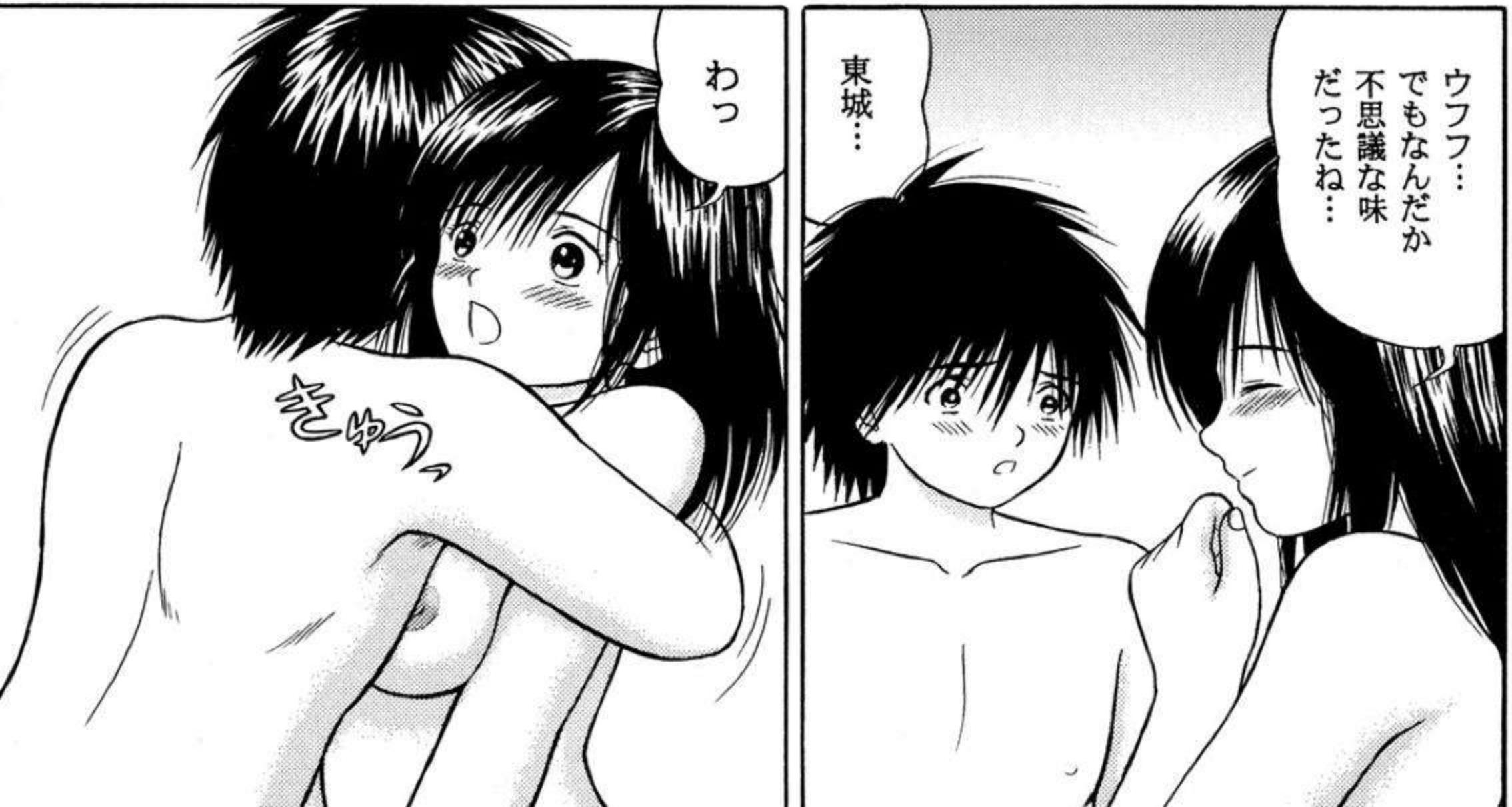


なんだか  
ちょっと  
恥ずかしいな…









ねエ…  
真中くん  
そろそろ…

うん

よかつた  
真中くんに  
喜んで  
もらえて…

ねツ♥

…あたし…  
せつなく  
なっちゃう…よ

はあ  
はあ

あ…  
ね…ねエ…  
…お願い…  
じらさないで…

あツ

ぬちゅ

あン

ぬちゅ…













原作の方の最終回についてですが、連載終了当初はやはり人によって意見が分かれたり、賛否両論がいろいろとあったと思いますけれども、私の個人的見解ではけっこう納得できるエンディングでした。まあ、たしかに普通に考えた場合のラブコメ物の終わり方としては異例だったのかもしれないんですけど…でも、やっぱりこのラストシーンも「あり」なんでしょうね…。（予想のひとつには「結局誰ともくっつかない…」というのもありました…）

まあ、とにもかくにも最終的には西野っちとくっついちゃったワケですけど、あれだけ可愛くて頭の冴えている賢い彼女といっしょになると、後々いろいろと大変かも…（笑）。最終巻のあとがきで原作の河下氏もコメントしておりましたが、恋愛というのは成就させるのも大変だけど、そのあとを続けていくのはもっと大変ですからねエ…（痛感）。時間が

過ぎればお互いの嫌なところや、悪いところもどんどん見えてくるし、いろいろと糺余曲折もあるだろうし…。

まあ、逆に彼女なら真中のダメな部分をひとつひとつ正していくれそうですね…とりあえずは2人とも末長くお幸せに…ということで…。

さて、片やの東城ちんですが（…というか今回の本はこの子がメインなんですから彼女の話をしましょーね…）真中にふられたあとの彼女を見ていると、健気にいっしょけんめいガンバっている姿がホント可愛くて、いじらしくて、ちょっと泣けてきてしまいます。でも、そんな中でも少しずつ気持ちの面で強くなっていく彼女が

いて、その部分には逆に頼もしさが感じられました…。その

結果、自分の進むべき方向を見定められたからこそ、卒業式ではあの笑顔を見ることができたのではないか…。本当にあのシーンでの彼女の微笑みはまぶしすぎるくらいのいい顔でした。（この子には幸せになってもらいたいな…）

とりあえず、原作の方では思いが叶うことにはなかったので、せめてこういったパロディの場でなら少しは幸せ気分になってもらってもいいですよね…。



先の12月初頭に発売された19巻で一応原作コミックスの方も終了ということですが、それ以外の部分では、まだまだいろいろと展開しているみたいなので(特にフィギュア系)、けっこう入手するのも大変ですけれども、それでもいちごファンの1人としては、根性入れて集めまくっております…。

まずは、少し前(?)に出ましたガシャポン第2弾のコミックス表紙Verですけれども、これはとてもよい造りになってましたね…。前回の第1弾よりも造形のレベルが上がっているのでは…?と個人的には思ったのですが……。でも西野っちの11巻の方は、できれば中表紙の紐を解いた方にしてほしかったにゃ~…♡

次にプライズの方ですが、これも水着のイメージは前述した表紙のイメージですけれども、こちらの出来もなかなかですので、私と同じくファンの方なら入手しておきたいアイテムね…。西野っちの水着のシワがイヤらしすぎ…♡

それと、プライズと同時期に発売されたボックス・フィギュアの方も、各々ポージングが良いので、こちらもぜひとも全種揃えておきたいものです……。ちなみにシークレットの婦警さんVerは、2種類あるんですね…。

今後もどんな物ができるかとても楽しみですが、今一番注目なのは19巻の帯に予告された、ドラマCD同梱のフィギュアでしょうね。早く出ないかなあ…。



今回もそろそろ終わりになりますけれども、いかがでございましたでしょーか…。前にも話しましたけれど、原作は終わってしまいましたが「いちご100%」は私にとっては、ホント思い入れのある作品なので、今後も不定期ではありますが描いていきたいと思います。まあ、みなさまも既にご存じのように、元々ウチはあまり流行り廃りに振り回されるようなスタイルはとってないですから…。それに「いちご～」はまだ処理してない話がいっぱいあるんですよ…。今回の話の続きというのも当然あるし、それぞれのキャラについても、新しい話が次々と出来ているので、とにかくそこは時間を見つけては描いていくしかないですね……。今後、どれだけの方々がついてきてくれるかはわかりませんが、なんてったって、いちごキャラの女の子たちを描くのは私自身がとても楽しいですから……。（次回は早ければ春くらいに…）

さてさて、話は変わりまして今後のイベント参加の予定などをお話ししたいと思いますが、年明け一発目は、いつもの1月末のサンクリの参加を予定しております。

…それで、問題はそのあとですが、例年は3月中旬頃に行なわれていたサンクリが、今年は4月になってしまったので（ポスト・レヴォを狙ってのことだと思いますが）これのおかげで、ウチのイベント参加予定のバランスが大きく崩されました…。そこでとりあえずは4月の頭にあるキャッスルに参加する予定です。←このイベントも本当に開催されるのか、業界内では疑問の声もありますが…。そして4月ですが、この秋のプレビュー開催を経て、この春に正式開催される4月末の「T R C こ～みっく」への参加を予定しております……。それで、このイベントですが、今までC・レヴォに来られていた方々は注目しておいた方がいいかもデス…。4月末と10月に開催らしいので……（察しのいい方ならお気づきかと思いますが、要はそういうことです…）。

…ということで、早い方はまたひと月後に、それ以外の方々はまた春頃ということになると思いますが、またこの場でお会いできれば幸いです。

今年も一年間お付き合いいただきまして、本当にありがとうございました。来年もまたよろしくお願ひいたします。

それでは、また次の本でお会いしましょう！！

2005年 師走

夜魔咲 翔

発行日 2005年12月29日(初版)

発行者 夜魔咲 翔

発 行 D' ERLANGER

連絡先 ☎956-0805

新潟県新潟市中野3丁目

3-11-2

山崎 方

『D' ERLANGER』

scanned by tiny\_sun

\*上記住所で通販等の受付処理は  
行なっておりませんのでご了承  
ください。

印 刷 (株)ホープツーワン

無断転載厳禁

ANOTHER STORY

OF

ICHIGO 100%



④ STEP BY STEP

DIRECTED BY

D'ERLANGER

SHOW YAMAZAKI  
SOLO WORKS



WARNING!

No One Under Eighteen